

Work03

CSSプロパティを使ったスタイル表現

新たに学習したスタイルを使って、表示スタイルのリッチな表現を再現してみましょう。

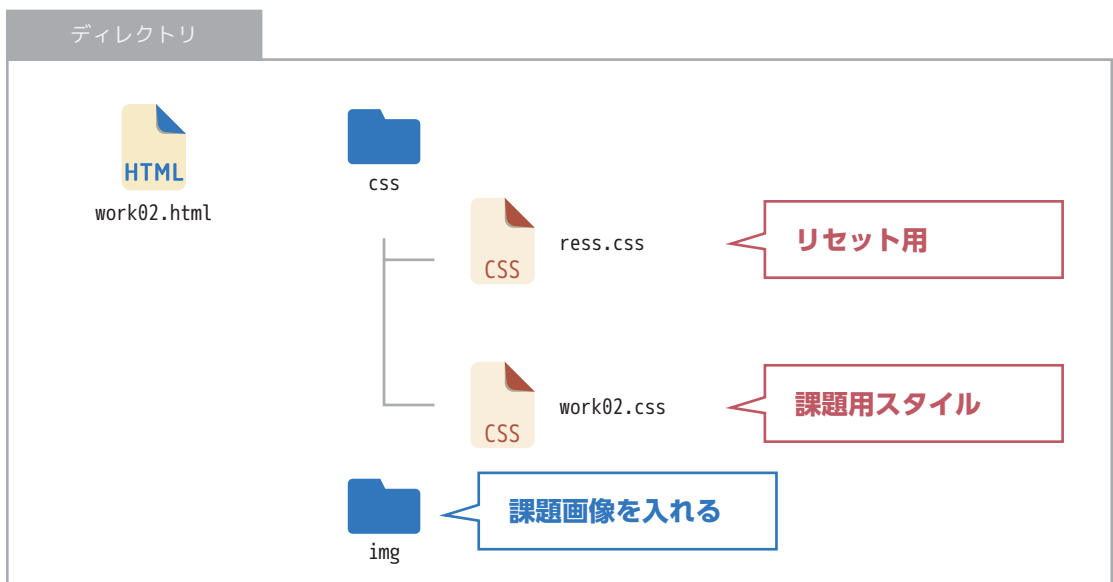
作成・設定するファイル

work03.html ress.css work03.css

今後以下ディレクトリに追加で項目を増やしていくので、ディレクトリを間違えない様に注意しましょう。
※ディレクトリ図は以下の通り

サイトタイトル

CSSで作成するリッチなスタイル



課題作成に向けてポイント

メイン画像

Google Fonts を利用して、Web フォントの設定を行うこと（フォントは任意）

画像・オーバーレイ画像・グラデーションの組み合わせを利用してメイン画像を完成させる（解説は次ページ）

ボタン

ボタンスタイル 1～3 へ装飾となる CSS を書き足していくこと

複数クラスを利用して、必要分のスタイルを追加していける様配慮すること

EXTRA ボタンにアイコン画像の設置を行う

ボタンスタイル 4 は、各自追加課題です。

アイコン画像が変更されても使いまわしが出来るスタイリングを考慮して作成すること

Work03

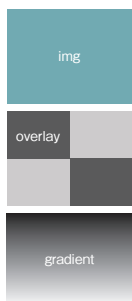
完成見本図 - 動きの詳細は課題見本を参照

※課題ページから見本データを必ず確認すること

CSS Style



メイン画像の構成は以下を参考に



1 03_bg.jpg

画像データ：画面全体に出るように調整する

2 03_bg_overlay.png

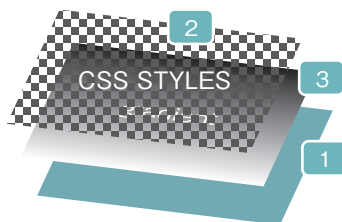
オーバーレイ画像：表示領域全体に敷き詰め、サイズ感は各自で調整する

3 linear-gradient

上から下にかけての線形グラデーションで上部の明るさを調整する

※16進数での色設定だと画像が出ないので注意する

メイン画像の構成表



背景画像を土台に2種類のフィルタ（グラデーション・オーバーレイ）を実装して、手前にくる文字とのコントラストをつける。

Work03

ボタンスタイル1 - 通常のボタンスタイル

h3(.ttl)

ボタンスタイル

p(.btn) > a

section (.styleWrap)

通常時 #46C4DB
ホバー時 #55B4C6

ボタンスタイル2 - 角丸に設定したボタンスタイル

p(.btn .btnStyle2) > a


同じ色指定の場合 (色は任意)


ボタンスタイル3 - 高低差を出したボタンスタイル

p(.btn .btnStyle2 .btnStyle3) > a

高さの表現の色
#548F9A

ボタンスタイル4 - 【EXTRA】CSSでボタンアイコンのスタイル設定

ボタンスタイル 

ボタンスタイル 

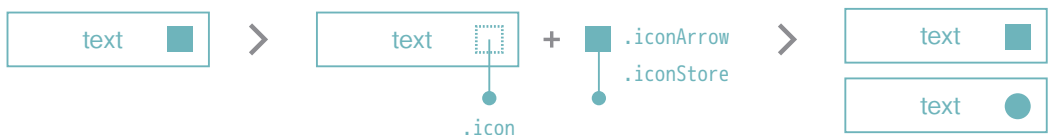
p(.btn .btnStyle2 .btnStyle3 .icon) > a(.iconArrow)
p(.btn .btnStyle2 .btnStyle3 .icon) > a(.iconStore)

copyright © comp ecccomp.inc

copyright マークを設定する

EXTRA ボタンにアイコン画像の設置

CSSの肥大化を防ぐ為、ボタンスタイルとボタンアイコンは別々の class での記述が望ましいです。
下記の考え方を参考にボタンにアイコンのスタイルを設定してみてください。



icon クラスでは、アイコンの位置のみ設定を行い、アイコンとなる画像の設置は別クラス (iconArrow など) に設定をすることで、アイコンの画像が複数あった場合でも変更箇所が少なくすむ様設定を行う。

a要素の先頭または後続にアイコン位置+画像を設定する



アイコン画像はあくまで装飾目的であり、視覚的な情報しか無い場合 CSS での追記スタイルをすると、不要なデータが HTML に記載されずに設定が可能です。上記図の用に a 要素に対して擬似クラス :before または :after を利用し、CSS から HTML へコンテンツを追記します。
CSS から HTML を追記する場合は、CSS のプロパティである content プロパティを利用しましょう。

```
a:before{  
  content:"abc";  
}
```

abc
a

a 要素の先頭に
文字が追加される

```
a:after{  
  content:"abc";  
}
```

a
abc

a 要素の後方に
文字が追加される